



ご挨拶

同窓会長 菅原 温 士

会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

日本経済は「百年に一度」とも「未曾有」とも形容される記録的な不況風が吹く年明けとなりましたが、私たちの進むべき方向は、そんなグローバルな時代のからくりから学んだ利得に明け暮れる虚構への誘惑ではなく、額に汗して生きる労働の尊さであったような気がします。今年、「牛（丑）」年です。牛は広い大地でゆったりと草を食む、そんな景色を思い起こさせてくれる動物です。このような時代だからこそ、ゆっくり一歩一歩確実に、志をもって歩む年としたいものです。さて、母校はご存じのとおり、明治34年（1900年）郡立東磐井農蚕学校として開設、翌明治35年6月8日開校以来、時代の変化に応じた変遷を経て、7年前には千厩高校と千厩東高校が、そして、去年は藤沢高校との統合を経て現在に至っております。卒業生総数は、26,132名を数え、平成23年（2011年）に創立110周年を迎えるための準備委員会を立ち上げたところです。現在母校では、地域に根ざし、地域に喜ばれる学校づくりに取り組んでおります。生徒会やボランティア活動が非常に活発で、病院・福祉施設での奉仕や清掃活動、千厩駅前の花壇の手入れ、クリスマスには、各施設で音楽部・吹奏楽部のコンサートや茶道部の御点前を披露しました。他にインターアクトクラブでは空き缶等の回収で車椅子を施設に寄贈したりもしました。このような活動は地域の方々から大変感謝されているところです。生徒諸君の活躍では、将棋部で全国高校将棋大会女子団体5位、箏曲部が全国高等学校総合文化祭日本音楽部門出場、ボクシング部がインターハイ出場、ボクシング部とソフトボール部が大分国体選抜チームとして出場、バトミントン部・卓球部・ボクシング部が東北高校選手権大会に出場、農業クラブが全国大会優秀賞、シーフード料理コンクール全国大会で日本放送協会会長賞などの母校の名を知らしめる活躍は、私たち同窓生にとっても大変うれしく誇らしいものです。今日このような激変する社会情勢にあっても生徒諸君は一生懸命励み、昨年度に増して大きな実績を挙げています。また、今年度、母校のホームページがリニューアルされ、県内の高校でも大変好評を得たものになっております。ぜひ会員の皆様にもホームページをご覧になっていただき、日頃の母校の様子や活動に関心を持ち、同窓会活動がより一層活性化されることを期待しております。

最後に、日ごろ同窓会運営に対し、校長先生はじめ各先生方にご協力いただいていることに感謝申し上げますとともに、同窓会並びに学校運営に対する皆様の一層のご協力とご支援をお願いし、挨拶といたします。



山仰台～たくさんのことに感謝して 校長 板宮 成悦

先日同窓の神奈川県在住の看護師さんから手紙をいただきました。高校卒業後三十数年間看護師として仕事をしてきたが、今年度は介護の資格を取りたいので、成績証明書をお願いするという内容でした。その向学心や情熱に感心しました。そして、その女性は私が以前、千厩高校に勤務していたときの教え子でした。初任の学校であり、退職もこの学校で迎える感謝の思いをこめて最後のご挨拶を申し上げたいと思います。

同窓会の皆様には平成13年の創立100周年につきましては多大の援助をいただき感謝申し上げます。いよいよ110周年を平成23年度に迎えます。このことにつきましては同窓会やPTAの皆様と相談しながら取り組んでまいりたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

学校の近況についてご報告申し上げます。生徒たちがまじめだということで、継続して求人を訪れていただいている企業もあり大変感謝しております。普通科については多様な進路に対応しています。大学進学者数は増加し、就職関係も県外は好調ですが不況の影響で全員が決定してはいません。卒業までには全員が就職できるように頑張りたいと思います。農業（生産技術科）は農業を基盤とした教育を展開しております。地域の特性を生かした農業教育に取り組んでいます。工業関係の産業技術科は情報関係の科としてスタートしましたが、物づくりが工業関係教育中心になっており、本校でも物づくりにも取り組んでおります。

部活動に関しては、ボクシングでインターハイに、ソフトボールで国体に出場しました。文化部関係では琴が群馬での全国大会に、女子の将棋団体が同じく全国大会に出場し全国で5位に入賞しました。全部の部が県大会に出場し、ベスト16以上になったクラブも多いのですがもう一歩と言う結果だったと思います。

もう2月です。今年の山仰台は雪がありません。同窓生の皆様がますますお元気で活躍なされることをこころからお願いいたします私の最後のあいさつといたします。